

令和4年(2022年)5月24日(火曜日)

争責 戸瓦 飛斤 屋瓦

## 三島再開発 地下水など保全を NPO、専門家 知事に要望書



再開発事業を巡り川勝平太知事(左)と懇談する専門家ら1123日午後県庁

三島市の三島駅南口東街区に広域健康医療拠点や高

層マンションを建設する再開発事業を巡り、地元のNPO法人グラウンドワーク三島は23日、水循環学や地質学の専門家らとともに県庁に川勝平太知事を訪ね、地下水や環境保全対策の徹底などを求める要望書を提出した。

訪れたのは大阪経済大学の稲場紀久雄名誉教授(水循環学)や地質学者の塩坂邦雄氏、東京理科大の岩岡竜夫教授(建築学)ら。再開発事業が地下水の存続と保全に影響を及ぼし、景観を損ねると主張したほか、「地質ボーリング調査のデータを公開してほしい」「公

益施設の床面積がわずか3%で、補助金の適正支出の点で問題がある」などと訴えた。資材高騰に伴う建設費の増加にも懸念を示した。

川勝知事はこれまで、都市再開発法に基づく組合の設立認可を5月末までに判断する意向を示している。「違法でなければ認めざるを得ない」としながらも、「市民との合意ができていく」とは言いがたい。納得いく説明をしてもらわないと事業に取りかかれない」と述べ、付帯意見を盛り込む可能性を示唆した。

提出後に記者会見した同法人の渡辺豊博専務理事は19日に提出した公開質問状に触れ、「回答がないまま認可するとすれば承服できない。納得いく説明を求めたい」と話した。